

令和7年度第1回小城市立中林梧竹記念館協議会 議事録

開催日	令和7年5月13日(火)	
開催時間	14時00分～15時00分	
開催場所	小城市立歴史資料館 2階 研修室	
出席者	委員	山口委員長、小柳副委員長、秀島委員、中林委員、川副委員、山口(晶)委員
	事務局	大野教育長、田久保課長、本村副課長、古庄、川崎、松尾
議事	議題 I 令和6年度 中林梧竹記念館事業報告 II 令和7年度 中林梧竹記念館事業計画	
欠席委員	野中委員、相川委員	
傍聴者	なし	

【会議の公開・非公開について】

市の「審議会等の会議の公開に関する指針」に従い、公開で開催

発言者	内容
委員長	<p>現時点での傍聴者はいらっしゃいません。</p> <p>それでは、次第に沿って進めていきます。議題1 令和6年度中林梧竹記念館事業報告について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>P4をご覧ください。1. 令和6年度中林梧竹記念館事業報告について説明します。</p> <p>まず、1. 中林梧竹記念館協議会についてですが、第1回を令和6年6月21日(金)13時30分から、歴史資料館研修室で開催しました。出席者は資料に記載している方々7人が出席されました。議題として、令和5年度事業報告についてと、令和6年度事業計画について審議をしていただきました。次に、第2回を令和7年3月13日(木)14時から、歴史資料館研修室で開催し、8人が出席されました。議題として、令和6年度中林梧竹記念館事業経過報告についてと令和7年度中林梧竹記念館事業計画(案)について審議をしていただきました</p> <p>続きまして、2. 展示会について報告いたします。まず、令和5年度から引き続きですが、5月26日(日)まで「山口紫竹(しちく)寄贈作品展」を開催しました。入館者数は408人でした。次に、第1期を6月1日(土)から9月1日(日)まで、</p>

「ふしぎな文字の形」と題し、造形の巧みさ・美しさに焦点をあて、各年代の作品を展示しました。入館者は246人でした。次に、第2期を9月7日(土)から12月1日(日)まで、「ふるさとへの思い」と題し、ふるさと佐賀・小城にちなむ作品や印が押された作品を展示しました。入館者数は173人でした。次に、12月7日(土)から翌年4月13日(日)まで、「折節(おりふし)の書 梧竹カレンダー十年の歩み」と題し、10年間作成した梧竹カレンダーに掲載された珠玉(しゅぎよく)の書を展示し、10年の歩みについて紹介をしました。入館者数918人でした。

次に、3. 梧竹翁顕彰事業についてご説明いたします。まず、(1)第32回書聖中林梧竹翁顕彰席書大会ですが、これについては、中林梧竹翁顕彰会に委託し行っている事業になります。席書会につきましては、7月21日(日)ドゥイング三日月で開催しました。参加者は380人参加されました。次に、(2)書に親しむ日についてですが、小中学校の夏休み期間中に、桜城館2階展示ホールで書道体験コーナーを設け、筆、墨、硯、紙を設置し、自由に書いてもらい書道を体験していただきました。次に(3)梧竹のデジタルミュージアムの拡充として、小城市ホームページに梧竹の作品の紹介を行っています。3月31日時点642件を公開し、累計閲覧件数が1,221,134件になっています。ちなみに、5月12日時点642件を公開し、累計閲覧件数が1,235,523件になっています。

次に、4. 資料収集ですが、毎年、中林梧竹に関する資料を購入、寄贈、寄託により収集を行っています。令和6年度は、東京都在住の方から、中林梧竹の書「漢建平県石刻(かんけんぺいけんせつこく)」、福岡県の方から「岡山神社神門銘(おかやまじんじゃしんもんめい) 拓本」を寄贈していただきました。

次に、5. 普及についてですが、(1)市内全小・中学校との連携として、梧竹記念館の見学を授業の一環として進め、梧竹に関する学習をしていただきました。今回は桜岡小3年から6年の生徒さんに見学していただきました。次に、(2)他の博物館・美術館との連携・情報交換として、令和6年度は、東京都荒川区立荒川ふるさと文化館に、鎮国之山銅碑建立時の記念写真の提供をおこないました。(3)団体等との連携として、中林梧竹翁顕彰会、梧竹の会により制作された梧竹カレンダーへの画像提供を行いました。また、12月3日

	<p>(火)に小城市役所で梧竹カレンダー贈呈式が開催され、市へ令和7年版梧竹カレンダーの寄贈をしていただきました。 令和6年度中林梧竹記念館事業報告は以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。 議案1 令和6年度中林梧竹記念館事業報告について事務局から説明をしていただきました。このことについて、何か質問はありませんか。</p>
—	質問なし
委員長	<p>それでは、議題2 令和7年度中林梧竹記念館事業計画について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>令和7年度中林梧竹記念館事業計画について説明いたします。</p> <p>P8をご覧ください。1 中林梧竹記念館協議会についてですが、第1回を、今日5月13日(火)に開催し、第2回を2月に開催予定としています。協議会の開催につきましては、前もって通知でご案内させていただきます。</p> <p>次に、2 展示会についてですが、第1期を4月19日(土)から8月31日(日)まで「梧竹の自作詩」を、第2期を9月6日(土)から11月30日(日)まで「屏風の名品」を、第3期を12月6日から翌年4月12日(日)まで「一年一書」を開催する予定にしています。</p> <p>次に、3 梧竹翁顕彰事業についてですが、まず、第33回書聖中林梧竹翁顕彰席書大会を8月3日(日)にゆめぷらっと小城を会場に開催します。次に、書に親しむ日については、夏休み期間中に、桜城館2階展示ホールでこどもたちに書に親しんでもらえるように、書道の体験コーナーを設置します。次に、小城市のホームページで閲覧できる梧竹のデジタルミュージアムについては、まだ未検討作品がありますので一定数集まったところで検討会を開催し、ホームページへの公開を行いたいと考えています。</p> <p>次に、4 資料収集についてですが、中林梧竹に関する資料を今年度も購入、寄贈、寄託により収集を行いたいと考えています。 令和7年度梧竹書の寄贈・寄託が各1件ずつありましたので資料のとおりご報告します。</p>

	<p>次に、5普及についてですが、前年度に引き続き、市内全小・中学校との連携、他の博物館・美術館との連携・情報交換、団体等との連携、梧竹讃歌・甚句の普及に努めていきたいと考えています。</p> <p>令和7年度中林梧竹記念館事業計画について説明を終わります。</p>
委員長	<p>今、事務局から議題2 令和7年度中林梧竹記念館計画について説明を受けましたが、このほかに何か質問はありませんか。</p>
—	<p>質問なし</p>
委員長	<p>無いようなので私から。令和9年は梧竹生誕200年だが、(準備期間としては)正味1年しかない。これに関し予算等配慮されているか。市長も変わっている。理解されているか。</p>
課長	<p>生誕200年については、市長も認識されている。具体的な内容についてはこれから詰めていく。委員の皆さんにも意見を伺いながら準備を進めていきたい。</p>
委員長	<p>没後200年のときは2か年に分けて予算措置されていた。他の自治体も予算は減額傾向にあると聞いている。今回も計画的に予算要求していただきたい。</p>
課長	<p>令和8年度を準備期間と考えている。梧竹記念館では年間を通して梧竹の作品を展示している。例年の通常展示と並行して準備していく。</p>
委員長	<p>梧竹関連団体と市長が面談できる場を、可能であれば作って欲しい。</p>
小柳委員	<p>関係団体に意見や要望を聞きながら進めていってもらいたい。</p>
山口委員	<p>(事業自体は) 令和9年度実施という認識で良いか。</p>
課長	<p>お見込のとおり。生誕の日に合わせてではなく、生誕「年」ということで事業を実施していく。</p>